

代表案件リスト

- ハノイ市エンサ下水道整備事業
(ハノイ市) 2013年3月～現在実施中
- 第2期ハノイ水環境改善事業
(ハノイ市) 2006年3月～2016年12月
- ハノイ水環境改善事業
(ハノイ市) 1995年4月～2005年8月
- ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画
(ハイフォン市) 2015年2月～現在実施中
- ハイフォン市都市環境整備事業
(ハイフォン市) 2005年3月～現在実施中
- フェ市水環境改善事業
(フェ市) 2008年3月～現在実施中
- ホイアン市日本橋地域水質改善計画
(ホイアン市) 2015年12月～2018年11月
- 第2期ホーチミン市水環境改善事業
(ホーチミン市) 2006年3月～現在実施中
- ホーチミン市水環境改善事業
(ホーチミン市) 2001年3月～2012年10月
- 南部ビンズオン省水環境改善事業(フェーズ2)
(ビンズオン省)
2012年3月～現在実施中
- 南部ビンズオン省水環境改善事業
(ビンズオン省)
2007年3月～2013年
- ドンナイ省上水道整備事業
(ドンナイ省) 1998年3月～2014年
- ドンナイ省水インフラ整備事業
(ドンナイ省) 2015年7月～現在実施中
- 下水道計画・実施能力強化支援プロジェクト
(ハノイ市、各地方省) 2016年2月～2019年11月
- 流域水環境管理能力向上プロジェクト
(ハノイ市、バクザン省、バクニン省、タイグエン省、ホーチミン市、ドンナイ省、
バリアブントウ省、ビンズオン省)
2015年11月～2019年5月
- 都市廃棄物総合管理能力向上プロジェクト
(ハノイ市、トゥア・ティエン・フエ省)
2014年3月～2018年3月
- 大気質管理制度構築支援プロジェクト
(ハノイ市、ホーチミン市)
2013年9月～2015年5月
- 高濃度有機系産業排水を対象とした高性能排水処理システム普及・実証事業
(ハイフォン市 / 株式会社ジェー・フィルズ) 2019年2月～2021年5月
- 流域水環境モニタリング能力向上のための簡易水質計測器の導入に係る普及・実証事業
(ハノイ市 / オプテックス株式会社) 2019年1月～2020年12月
- 建設廃棄物の安全で効率的な分別・選別処理システムによる
埋め立て処分量削減のための案件化調査
(ハノイ市他複数省 / 鈴健興業株式会社) 2018年12月～2019年10月

SDGs* 達成に向けた JICA の取組方針

- 1 | 人間の安全保障と質の高い成長の理念を
推進する SDGs 達成でリーダーシップを発揮
- 2 | 我が国自身と開発協力の経験を活かし、
SDGs の 10 のゴール** で中心的役割を果たす
- 3 | SDGs 達成に向けインパクトを確保するため、
国内外のパートナーとの連携、
イノベーションをはかる

* 2015年9月の国連サミットで採択された

17のゴール・169のターゲットで構成される世界全体の目標

** 10のゴール：「2(飢餓・栄養)、3(健康)、4(教育)、6(水・衛生)、
7(エネルギー)、8(経済成長・雇用)、9(インフラ・産業)、
11(都市)、13(気候変動)、15(森林・生物多様性)」

Japan International Cooperation Agency

JICA Vietnam Office

11th Fl., CornerStone Building, 16 Phan Chu Trinh St.,
Hoan Kiem Dist., Hanoi, Vietnam
Tel: 84-24-38315005

JICA Vietnam Office, Ho Chi Minh City Branch

No. 903-904, 9th Fl., Saigon Riverside Office Center,
2A-4A Ton Duc Thang St., Ben Nghe Ward, Dist.1,
Ho Chi Minh City, Vietnam
Tel: 84-28-38274942

<https://www.jica.go.jp>

<https://www.facebook.com/jicavietnam>



環境管理

(水・大気汚染・廃棄物)

信頼で世界をつなぐ

国際協力機構(JICA)

ベトナム事務所



2020年1月

法整備支援と政府関係者能力向上強化で 経済成長に伴う環境問題を打開

セクターの現状と課題

ベトナムは、昨今の急速な経済成長と都市化により水質汚濁、廃棄物増加等の深刻な環境問題が生じています。今後も引き続き経済成長が予想され、環境汚染は更なる悪化が懸念されています。中でも、未処理の生活・産業排水の流入による都市部の河川、運河、湖沼の水質汚濁は著しく、排水・汚水処理施設が整備されていないことから、洪水時に汚水が浸水し、伝染病の蔓延などの危険があります。

また、交通量の増加による大気汚染も深刻です。都市中心部の商業地域のみならず、居住地域でも人々が健康、安全に暮らせる指標となる環境関連基準値を超えています。これらに加えて、急増する一般・産業廃棄物への不十分な対応や環境に配慮した処理施設の整備と合わせ、分別や減量化・減容化が課題であるほか、海洋プラスチックごみへの対応も喫緊の課題です。

ベトナム政府の政策と対応

ベトナム政府は 2012 年に国家環境保護戦略を掲げ、2020 年までの計画と 2030 年までのビジョンを策定しました。これに伴い環境保護法を改正し、2020 年に再度同法の改正が予定されています。また、2016 年に下水道整備方針を策定したほか、ベトナム国社会経済発展計画 (SEDP) (2016-2020 年) では、国民の清潔かつ安全な水へのアクセス率の改善 (農村部 90%、都市部 95%)、有害廃棄物処理 (85%)、医療廃棄物処理 (95-100%) を都市環境管理分野における主要目標として挙げています。

また、海洋プラスチックごみ削減のためのアクションプランを策定し、陸と海両方でのプラスチック削減に取り組みます。

ベトナムの大気汚染

都市部では新しいマンションやビルの建設、古い建物の取り壊しなど、建設現場の砂ぼこりが大きな要因となり、PM10 やさらに小さい PM2.5 を含む「粉じん」が発生し、環境基準値を満たすことができていません。また、粉じんや NOx (窒素酸化物) の値が特に上がるのは通勤通学や帰宅時間の朝 7 時前後と夕方です。バイクと車からの排気ガスの影響も大きいと考えられています。



ハノイ市市中心部



ベトナム各地での大気汚染の指数はネットでも確認可
(出典: <http://aqicn.org/city/vietnam/hanoi/us-embassy>)

JICAの支援戦略と方針

急速な経済発展のひずみである環境破壊、温暖化など環境管理は重要な課題とされています。

都市環境問題

下水処理場等の施設整備を支援するとともに、適切な整備推進と運営管理を行うために、規制官庁と実施機関双方の実施能力強化を支援していきます。

廃棄物管理

これまでの総合的な能力強化支援を継続するとともに、新たな課題である海洋プラスチックごみ対策に貢献します。

海洋プラスチックごみ削減

海洋に流出しているプラスチックごみの量は、世界全体で少なくとも年間 800 万トンと試算されています。何も対策がなされない場合、2050 年には海洋プラスチックごみが魚の重量を上回るといわれ、国際的な関心が高まっています。Jambeck (2015) ほかによると、陸上から海洋に流出したプラスチックごみの国別年間排出量の推計値は ASEAN 諸国を中心とする開発途上国が多くを占めると推定され、中でもベトナムは世界第 4 位です。

そのような状況を打開するため、ベトナム政府はプラスチックごみの削減の取組を強化し、2019 年、海洋ごみ削減に向けたアクションプランを作成しました。JICA は「海洋プラスチックごみの実態把握及び資源循環に係る本邦技術の活用に向けた情報収集・確認調査」を実施し、ベトナムを含む近隣の海洋ゴミの現状把握に努めるとともに、その打開に向けた新たな活動を開始しました。

<国別年間排出量> (単位: 万トン/年)

1 位	中国	132 ~ 353
2 位	インドネシア	48 ~ 129
3 位	フィリピン	28 ~ 75
4 位	ベトナム	28 ~ 73
5 位	スリランカ	24 ~ 64
6 位	タイ	15 ~ 41
20 位	米国	4 ~ 11
30 位	日本	2 ~ 6



タインホア省海岸の海ごみ
(JNK Environmental Research & Consulting CO.,LTD 提供)

(出典) Jambeck et. al.: Plastic waste inputs from land into the ocean, Science (2015)

代表案件例

都市廃棄物総合管理能力向上プロジェクト (2014 年 ~ 2018 年)

<技術協力>

ベトナム全国ではごみの最終処分場が不足しており、各地方自治体が中間処理施設 (コンポストや焼却炉等) を導入し、ごみ減量を目指しています。トゥア・ティエン・フエ省では、日本のごみ管理計画の内容を盛り込んだマスタープラン作成を支援し、コミュニティが自主管理するコンポストや参加型 3R などの支援を行いました。

(実施地域: ハノイ市、トゥア・ティエン・フエ省)



ほぼ飽和状態の
ハノイ市ナムソン廃棄物処分場



トゥア・ティエン・フエ省の児童による
分別ビンのポスター

第二期ハノイ水環境改善事業 (2006 年 ~ 2016 年)

<円借款>

ハノイ市では下水処理場が整備されておらず、また、既存の排水・下水施設の多くは老朽化により流下能力が低下していたため、浸水氾濫が市街地区で発生し、周辺河川、湖沼の水質が悪化していました。プロジェクトを通じ洪水の改善、河川や調整池の水質を改善し、環境と住民の生活・衛生状態の改善に貢献しました。

(実施地域: ハノイ市)

事業実施前



クオン・チュン 1 湖

事業実施後

